

# 親子聖書日課

[日]神はバビロンを「主の剣」として用い、偶像礼拝に陥ったご自分の民を滅ぼすことを許されました。しかし、主が十字架につけられた「その日・その時」民が犯した罪は完全に赦されたのです。過去の罪を恐れたり悲しむことはありません。

[月]「十字架にかかって死ぬなんて無力な神だ」と思う人がいます。しかし、主は3日目に復活して、死に勝利されました。主は死より強いので、死は終わりではありません。復活の主を信じるなら、死の陰の谷に行く時も災いを恐れません。

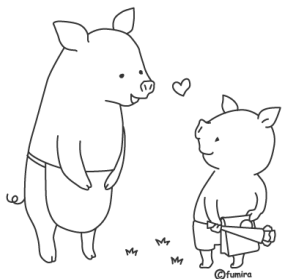
[火]神に選ばれた「イスラエルとユダ」は、罪を犯しても神に見捨てられません。その反対に、神のものでないバビロンは、一時栄えても滅びました。神に選ばれるには、良い行いが条件ではありません。ただ罪を悔い改めて、主を信じることです。

[水]バビロンは不信仰なユダを打つ役割は果しましたが、その事によって思い上がり、主に裁かれました。主は一時この世の力を用いますが、主に従ってこそ、生涯、主に用いられます。「わが民よ、その中から出よ」罪の中から脱出しましょう。

[木]うわさほどいい加減なものはありません。悪魔はうわさを利用して、信仰をぐらつかせ、不信感を植えつけます。しかし、しっかりと御言葉に立つなら、惑わされることはありません。うわさ「噂」は、口をもって尊ぶことですから、主のことを噂しましょう。

[金]最後は哀れなユダの末日を記しますが、ここでも主の恵みが語られています。残酷なバビロン王でさえ捕らわれのヨヤキンに情けをかけ、日々の糧を与えました。主は愛する人を見捨てられません。「死ぬ日まで」霊の糧が与えられています。

[土]哀歌は1節の「なにゆえ」という嘆きの声からつけられました。バビロンによって滅ぼされたエルサレムについての言葉です。民は罪を犯したことを告白し、主の憐れみを求めます。各章は22節からなり、各節が「いろは歌」になっています。



NO.1911 2025.5/11-17

名前

|          | 聖書           | 問題                               | 答え |
|----------|--------------|----------------------------------|----|
| 日        | エレミヤ 50:1-20 | 主が、生き残らせる人々の罪をどうするからですか。         |    |
| 月        | 50:21-46     | 彼らを贖われる方はどんな方ですか。                |    |
| 火        | 51:1-26      | イスラエルとユダは、万軍の主にどうされましたか。         |    |
| 水        | 51:27-45     | わが民よ、その中から出て、おのおの何を救うべきですか。      |    |
| 木        | 51:46-64     | この地で耳にする何を恐れてはいけませんか             |    |
| 金        | 52:1-34      | ヨヤキンは生きている間、何を常にバビロン王から支給されましたか。 |    |
| 土        | 哀歌 1:1-22    | エルサレムは何に何を重ね、笑いものになりましたか。        |    |
| 感想と祈りの課題 |              |                                  |    |